

もくじ			
えび人 vol.99	2	相談	7
今号の表紙	3	図書館	8
文化会館	6	子育て・HUGHUG赤ちゃん10	

**「広報えびな」の共通マークとルール**

日・日にち 期 時間 場 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日・振替休日を除く 休み

高齢者対象の教室など
 えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



おばあちゃんに習字を教わっています。  
 中新田小学校 藤代知理子さん(10歳)

写真

タイトル：春一面  
 撮影場所：県立相模三川公園  
 撮影者：社家在住  
 西島煌太さん



編集雑記

私は地元の自治会の防災訓練に毎年参加しています。参加の度に炊き出しの準備や仮設トイレの設置の方法、備蓄倉庫の中に入っている備蓄品の確認、避難する際の心構えなどいろいろなことを教えて頂いています。防災訓練で学んだことをいざという時に少しでも実践できるよう防災に関心を持って、これからも訓練に参加したいと思います。(F)



(写真上)Bブロック連絡会。地域の危険な箇所を共有し、災害時の行動を話し合う  
 (写真中)趣味のパステル画をサロンで展示。「みんなが見てくれるとうれしいよね」  
 (写真下)定年退職後に始めた週4回の卓球は若々しさを保つ秘訣



安全衛生活動の経験を地域に広げたい

吉田さんはイエス・ノーをはっきり言う性格。「必要性がないことは『私はやりません』と。でも、意義があると思うことには徹底して取り組みます」。自治会長を頼まれた時も、「1年では何もできない。最低2年はやらせてほしい」と、自らお願いしたエピソードも。災害の多い日本だからこそ、仕事で得た安全衛生の知識をどうしたら地域に届けられるのかを考える吉田さん。「防災指導員の活動は、『うちの地域でもやろう』と行動してくれる人が一人でも二人でもいてくれたらと思うてやっています」

防災指導員のメンバーが短期で替わることにも悩む一方、防災知識が着実に広がっている手ごたえも。「若い世代にも私の学びを広げていきたい。あなたはどう思ってる？ 私はこう思うよ、と対話を続ける感じだね。一方的に話しても意味がないですから」と、年齢層の多様化を見据え、これからは個性を生かした柔軟なリーダーシップで、地域の皆さんを導きます。

**今月のえび人**

吉田 守さん  
 (国分寺台在住・80歳)

海老名市防災指導員Bブロックリーダー。防災指導員歴は15年目で市内最長。何でも飛びつく好奇心旺盛な性格で、古銭集めやカメラなど趣味も多彩。好きな言葉は「愛と正義と真実」。